

旧清水家住宅の沿革

清水家は、江戸時代には町役人を務めた家格で、「米佐」の屋号で米屋を営んでいました。その後、近代に入って医者に転じて屋敷地で診療を行っていましたが、現在は別敷地へ移転しており旧居宅は空き家となっていました。

かつて主屋の背面には、東北隅に増築された二階建ての居室棟、西北には坪庭を介して東西棟の土蔵が建ち、さらにこの土蔵の背後にはもう1棟の土蔵が建っていました。現在、坪庭北の土蔵を除いてこれらの付属屋は取り壊されています。

平成24年、所有者より土地・建物ともに大垣市へ寄贈され、平成26年、文化財として保存するため改修工事が行われました。

平成25年度	主屋・利便施設設計
平成26年度	主屋・利便施設整備
平成27年度	土蔵・庭等設計
平成28年度	土蔵・庭等整備



整備前



- 鉄道
JR美濃赤坂駅から徒歩5分
- バス
JR大垣駅南口1番のりば名阪近鉄バス「赤坂丸本前」下車、徒歩1分
- 自動車
名神高速道路大垣インターチェンジから25分
東海環状自動車道大垣西インターチェンジから8分

ご案内

入場料：無料
開館日：土曜日、日曜日及び休日(年末年始を除く)
開館時間：午前9時～午後5時
所在地：〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町2966番地1

お問い合わせ先

大垣市教育委員会 文化振興課
〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2-55
TEL(0584)81-4111, (0584)47-8067
ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp>

平成27年 3日発行

大垣市指定文化財

旧清水家住宅

中山道 赤坂宿



